



～わが家の～ この木 なんの木 日立の樹 by Tanjima

みなさんに「モンキーポッドっていう名前の樹を知っていますか？」と尋ねても、きっとどんな樹なのか想像もつかないと思いますが、「この木なんの木」の樹といえば、ご存じの方は多いはず。日立グループのCMで使用されていることもありと地面に向かって広がっている樹で、日立のCMは、ハワイ・オアフ島の「モアナルア・ガーデン」で撮影されたもの。

今回のタイトル背景用に使った写真も、前回渡ハしたときに撮影したもので、ガーデン内を散歩していた現地の方に話を伺ったところ、「ここを訪れるのは日本人ばかりで、毎年多くの日本人がこの樹を見に来ていますよ」とおっしゃっていました。ただし今はコロナ禍で、ハワイを訪れることすらままならないですので、モアナルア・ガーデンも、ひっそり静まり返っていることでしょう。



「この木 なんの木 気になる木～♪」のCM撮影地はハワイ・オアフ島の「モアナルア・ガーデン」にあります

モアナルア・ガーデンは私有公園で、日立がCM用の1本のモンキーポッドを維持するために、保守費の大半を負担。誰でも自由にに入れて、「日立の樹」というミニ冊子も無料配布しています。しかし、日立からの援助だけではガーデンが維持できないとの理由で、入場料を徴収するようになってしまったのが残念。

わが家には、ハワイから持ち帰った植物がいくつかありますが、その中にこの日立の



日立からの援助だけでは維持できないとの理由で、入場料を徴収するようになってしまったのが残念

CMで使われているモンキーポッドの「種」から発芽させた「日立の樹の子供」があります。モンキーポッドは年に2回花が咲き、その後、そら豆のようなさやに入った種を落とします。

私は何度かここを訪れたことがありましたが、その種を持ち帰るといふ発想にはならなかったのですけど、わが家と同じようにハワイが好きで、何度も渡ハしている私の知人が「ハワイのおみやげ」と言って、3粒の



モアナルア・ガーデンで配布している「日立の樹」というミニ冊子。日本語と英語で解説されています

種をおすそ分けしてくれました。

もらったものの、こんな種が発芽するのかと半信半疑でしたが、ネットで検索すると、同じようにモアナルア・ガーデンで拾ってきた種を発芽させて、育てている人のブログがいくつもあるのを見つけました。

さっそくブログに掲載されていた植物活力剤「メデネール」を購入し、解説どおり種の角を少し切って、メデネールを100倍に希釈した水に浸して1週間。種が大豆ほどに膨張し柔らかくなったところで土に埋めました。



これがモンキーポッドの種。私も次に渡ハした際に日立の樹の下で拾って持ち帰りました

それからしばらく経ったところで、3つ植えた種のうち2つが発芽。もう1つは発芽せずに土に帰っていました。

発芽した2つのうち、1つはまもなく枯れてしまいましたが、残った1つが葉っぱを出し、見事に生き残ってくれました。発芽後は順調に生育し、どんどん上に向かって伸び始めたため、背丈が1mになったところで枝別れるように先端を剪定。すると私の思惑通りに、切ったと

ころから複数の枝を出し伸び始めました。

生育は旺盛で、1年に50〜60センチほど伸びるため、室内に入れて越冬させるためと、枝を増やしてこもりさせたいために、毎年伸びた枝を剪定し続けています。現在樹齢4年といったところですが、まだまだ枝が垂れ下がってこもりするには至っていません。目下の悩みは、私が管理できる背丈サイズで、日立の樹のようにこんもりしてくれるかということ。これ以上大きくなってしまうと、室内に入れて越冬させられなくなってしまうからです。

こうしてわが家に日立の樹の子供が生育しているのですが、その後、再び渡ハした際にモアナルア・ガーデンへ立ち寄り、私も日立の樹の下に落ちていた種を持ち帰りました。このとき



わが家のモンキーポッドは現在樹齢4年。あと何年でこんもりしてくれるでしょうか？

の種は万が一、現在の樹が枯れたときのために保管してあります。今のところ、この種を使う必要はなさそうですが、せっかく持ち帰ったので、発芽させてみたい気持ちもあります。

右の写真が現在の状態で、まだまだ枝が少なく、こんもりとはしていません。わが家のモンキーポッドが「日立の樹」のようになるまで、枯らさないよう育てていこうと思っています。